ガス給湯器　取扱説明書 保証書付

品　　名	機器コード	型　式　名
TP-S516RFW	11-033-22-08536	GS-H1601W

ecoジョーズ

この製品は、潜熱回収型（高効率）のガス代節約型ガス給湯器です。

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

もくじ

ページ

お使いいただく前に
安全に正しくお使いいただくために…… 1
　この取扱説明書の表示について…… 1
必ずお守りください…… 1
各部の名称とはたらき…… 5
ご利用前の準備…… 7
　機器の準備…… 7

使いかた
お湯を使うには（リモコンなしで使う）…… 7
　お湯を使用する…… 7
お湯を使うには（別売品のリモコンを使う）… 8
　お湯を使用する…… 8
　リモコンを優先にする…… 9
　浴室リモコンを優先にする…… 9
浴槽にお湯張りをするには…… 10
　お湯張り機能について…… 10
　お湯張り機能を使用してお湯張りする…… 10
　お湯張り温度・お湯張り量の設定…… 11
チャイムや音声ガイドの音量を調節する… 12
　音量を変更する…… 12
浴室から人を呼ぶ…… 12
　呼び出し機能を使用する…… 12
省電力機能について…… 13
　省電力機能の解除…… 13
　省電力機能の設定…… 13

長くお使いいただくために
冬期の凍結予防をするには…… 14
　凍結予防装置について…… 14
　給水・給湯配管を凍結させないために…… 14
　機器の水を抜く方法…… 14
　再使用するときは…… 15
　凍結してしまったときは…… 15
点検のポイント・お手入れのしかた…… 16
　点検のポイント（月1回程度）…… 16
　お手入れのしかた（月1回程度）…… 16
　定期点検のおすすめ（有料）…… 17
故障かな?と思ったら…… 17
　リモコンにアラーム番号が出たとき…… 19
アフターサービスについて…… 20
あんしん点検について…… 21
　機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」（有料）のおすすめ… 21
　あんしん点検について…… 21
　この製品の設計上の標準使用期間について… 21
仕様一覧…… 22
保証書…… 裏表紙

TOKYO GAS

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危 険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P.XX)	参照ページを示しています。
“XXXX”	リモコンから流れる音声を示しています。

必ずお守りください

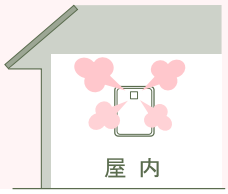
安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠危 険

屋内に設置しない

●燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。

禁　止



ガス漏れに気づいたときは

①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
③お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡する。

必ず行う

全ての処置が終わるまでの間、絶対に

・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

火気禁止

⚠警 告

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

必ず行う

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁　止

ガス接続について

●この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

必ず行う

このような場合は使用しない

●増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

禁　止

改造・分解禁止

●絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。

分解禁止

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁　止

お子様には十分な注意を

●浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。

禁　止

必ずお守りください

⚠警 告

アース必要

●この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

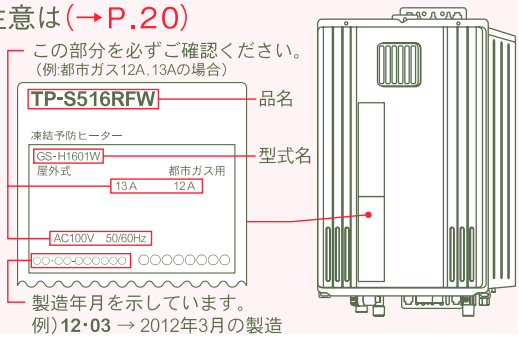
アースを必ず接続せよ

機器の銘板を確認

●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

必ず行う

●転居時の注意は(→P.20)



給湯・シャワー使用時の注意

●シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
・お湯を再使用するとき
・給水圧が下がったとき
・お湯の量を急に少なくしたとき
・機器が故障したとき

高温注意

必ず行う

●給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。

●シャワー・給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、**運転**スイッチを「切」にしない。
思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

禁　止

電源コードの加工禁止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。

禁　止

電源プラグのほこりなどは定期的に取る

●ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ず行う

許容電力以上の使用禁止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁　止

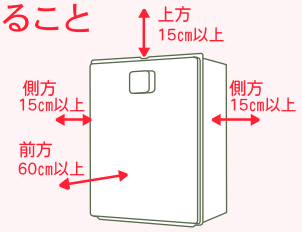
給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

禁　止

火災予防のために必ず守ること

●機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



●機器および排気口の周囲には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

禁　止

●機器の周囲では灯油・ガソリン・パーツクリーナーなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。

禁　止

●機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

禁　止

異常時の処置について

●地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
①給湯栓を閉じる。
②**運転**スイッチを「切」にする。
③ガス栓・給水元栓を閉じる。

必ず行う

●給湯栓を開けても点火しない場合や使用途中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
②「故障かな?と思ったら」(→P.17～19)に従って処置をする。
上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ連絡する。

必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

必ず行う

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。

感電注意

ぬれ手禁止

必ずお守りください

⚠注 意

用途についての注意
●一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。

禁　止

ソーラーシステムと接続する場合
●ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度よりも高くなることがありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。

必ず行う

電源プラグを抜くときの注意
●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。

必ず行う

機器本体の高温部に触らない
●使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。

接触禁止

水漏れに気づいたときは
●速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。

禁　止

ドレン排水口から排出される水について
●ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。ドレン水に触ってしまった場合は、念のため水道水で洗い流してください。

禁　止

配管カバー(または据置台)についての注意
●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。(→P.16)

必ず行う

長期間使用しない場合
●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じる。

必ず行う

お願い

リモコンの扱いについて
●浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンや増設リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

飲用にお使いのときは
●機器内に長時間たまった水(例えば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

断水のとき
●断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの**運転**スイッチを「切」にしてください。
●断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

ガス事故防止のために
●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプで確認してください。

電源プラグを抜かない
●お手入れや長期間使用しない場合、および水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき
●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉じてください。

必ず行う

●再通電したときは、リモコンの設定(給湯温度・湯量など)を行い、表示を確認したあとご使用ください。

長期間使用しないときは
●「機器の水を抜く方法」(→P.14)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

必ずお守りください

お願い

凍結についての注意

●凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.14)に従って処置してください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●凍結したときは■**凍結してしまったときは**(→P.15)に従って処置をしてください。

市販の補助用具について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
●混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

通水使用の禁止

●**運転**スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

日常の点検・お手入れ

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.16)
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等でふき取ってください。
●ドレン排出配管の先からスムーズにドレン水が排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉塞されている場合は掃除を行ってください。(高効率のため、排水量が多くなっています)

この機器は一般家庭用です

●業務用のような使いかたをされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

お願い　設置する場所や状況について

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者とご相談ください)
●足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のため空間を確保し空気の流れが停滞しないように考慮する。機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するためです。(機器の点検修理のための空間については、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスにお問い合わせください)

給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

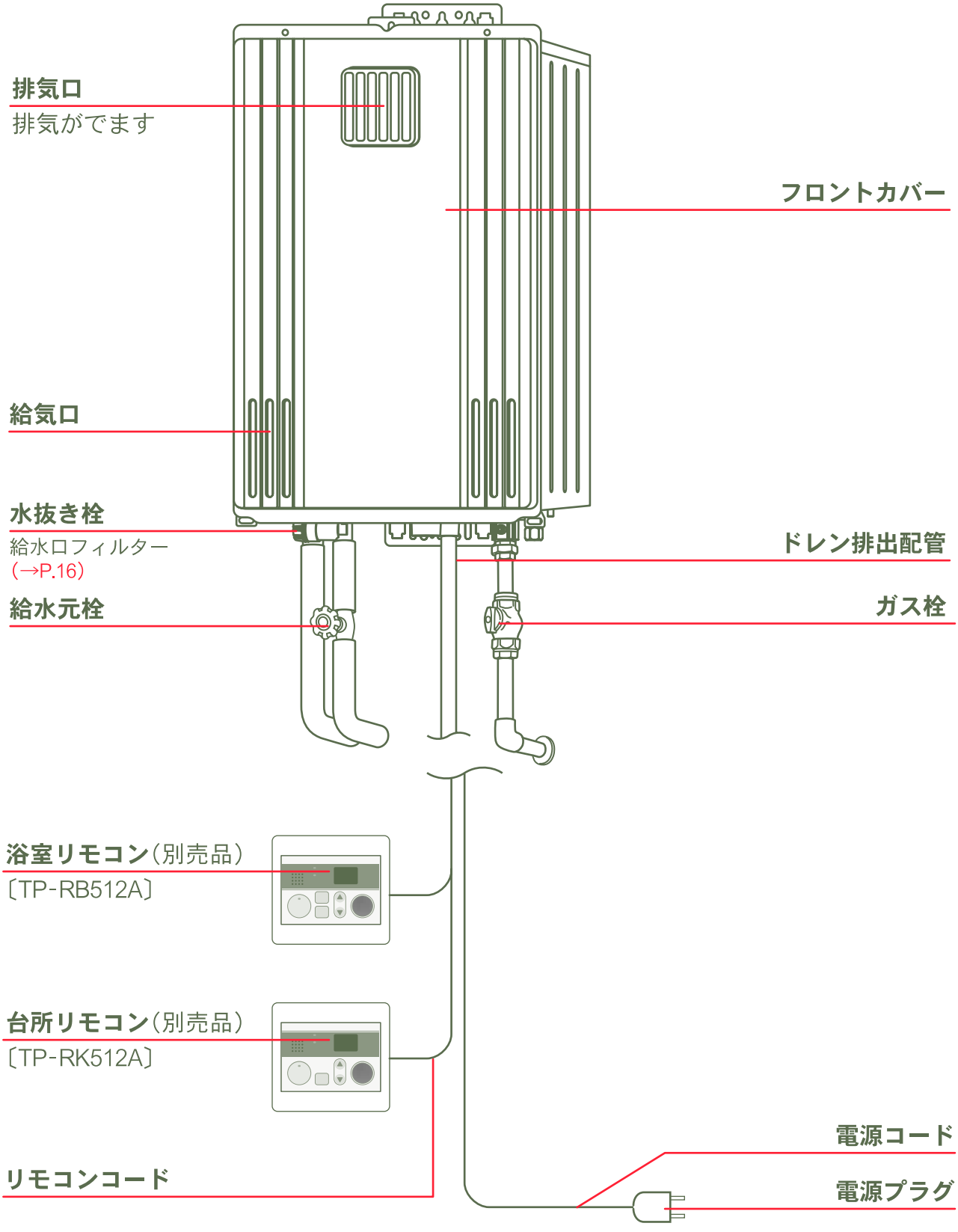
●増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。
●この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

地下水や温泉水、井戸水の注意

●この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴があくなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

各部の名称とはたらき

■機器本体

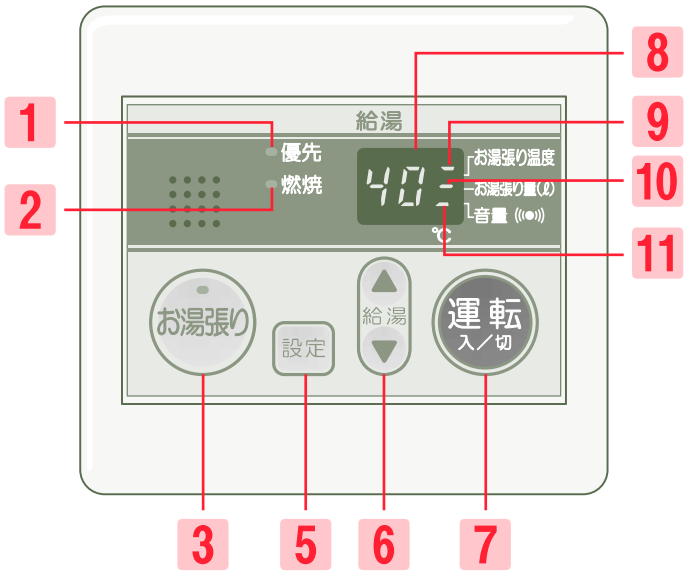


各部の名称とはたらき

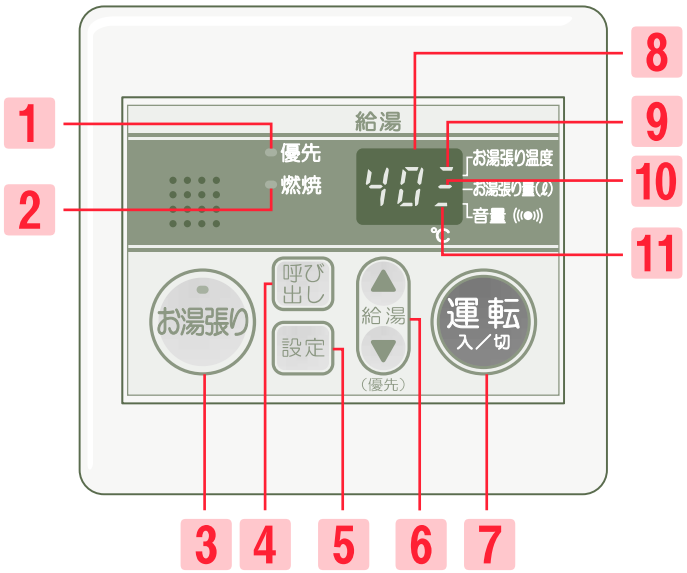
台所リモコン〔TP-RK512A〕、浴室リモコン〔TP-RB512A〕を取付けている場合は、お湯張り機能（自動止水）が使用できます。

■台所リモコン（別売品）〔TP-RK512A〕

※防水タイプではありません。



■浴室リモコン（別売品）〔TP-RB512A〕



1 優先ランプ（緑）
優先ランプが点灯しているときは、給湯温度の調節が可能です。

2 燃焼ランプ（赤）
給湯燃焼中に点灯します。

3 お湯張りスイッチ / ランプ（緑）
スイッチを「入」にすると、設定した湯量までお湯張りし、出湯を停止して音声でお知らせします。（→P.10）

4 呼び出しスイッチ
台所リモコンを取り付けている場合にスイッチを押すと、台所リモコンへチャイムと音声が流れます。（→P.12）

5 設定スイッチ
お湯張り温度・お湯張り量・音量を変更するときに押します。
また、5秒長押しすると、省電力機能の解除・設定をします。（→P.13）

6 給湯温度スイッチ（上下スイッチ）
給湯温度を調節するときに押します。
また、お湯張り温度・お湯張り量・音量を変更するときに押します。

7 運転スイッチ
運転の「入」/「切」をします。

8 給湯温度表示
通常は給湯温度を表示しています。
また、**設定**スイッチを押したときにはお湯張り温度・お湯張り量・音量を表示します。
省電力待機中には右図の表示部分で点灯と消灯を繰り返します。（→P.13）

9 お湯張り温度表示
設定スイッチを押して、お湯張り温度が変更できる状態のとき表示します。（→P.11）

10 お湯張り量表示
設定スイッチを押して、お湯張り量が変更できる状態のとき表示します。（→P.11）

11 音量表示
設定スイッチを押して、音量が変更できる状態のとき表示します。（→P.12）

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検・確認を行います(→P.16)

2 給水元栓を全開にします

機器の下部にあります。

3 給湯栓を開けます

水が出ることを確認したら閉じます。

4 ガス栓を全開にします

機器の下部にあります。

5 電源プラグをコンセントに差し込みます

機器周辺にあります。

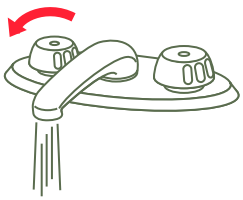
お湯を使うには(リモコンなしで使う)

給湯栓を開ければ、お湯が出ます。お湯の温度は約60℃の高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。

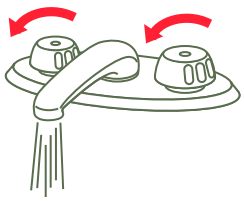
■お湯を使用する

お湯を出す

給湯栓を開けます

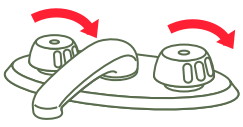


給水栓を開け、温度を調節します



お湯を止める

給湯栓・給水栓を閉じます

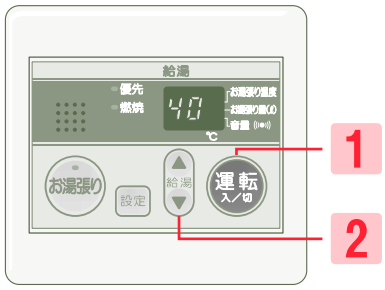


警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

メモ
- ●混合水栓にはサーモスタット付き、シングルレバータイプ、止水機能付きなどさまざまな種類があります。
- ●やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

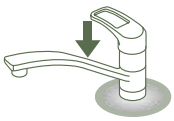
お湯を使うには(別売品のリモコンを使う)

リモコンのイラストは
TP-RK512Aです。
TP-RB512A・
TP-RK512Aで操作
ができます。



■お湯を使用する

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。

操作	操作後の画面	説明
1 運転を「入」にする		給湯温度を表示します。
2 給湯温度スイッチで給湯温度を調節する ご使用の目安(単位:℃)　40:工場出荷時 37 38 / 39 40 41 42 43 / 44 45 46 47 / 50 55 60 食器洗いなど / シャワー・給湯など / 給湯など / 高温		▲は温度が上がります。 ▼は温度が下がります。
お湯を出す 給湯栓を開ける 		給湯燃焼ランプが点灯します。
お湯を止める 給湯栓を閉じる 		給湯燃焼ランプが消灯します。 ※ただし、他の給湯栓が使用中のときなど、機器が燃焼している場合は消えません。

⚠警告

- 給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- シャワー使用中は使用者以外、給湯温度の変更や優先の切り替え・**運転**スイッチを「切」にしない。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水がでて思わぬ事故につながることがあります。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください

- 給湯栓を閉じても再使用時の点火をより早くするため、機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は一旦給湯栓を閉じ、再度給湯栓を開けてご使用ください。
- 50℃以上に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが**“熱い温度にセットされました 注意してください”**とお知らせします。
- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏期など水温が高い場合、低温に設定しても給湯温度より高い湯温となることがあります。

お湯を使うには(別売品のリモコンを使う)

お願い
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30℃近くなる夏期では、低温に設定しても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は**運転**スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度**運転**スイッチを入れたとき自動的に55℃に設定されます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40℃になります。再度設定し直してください。

メモ
- サーモスタット付混合水栓やシングルレバー混合水栓をお使いの場合、給湯栓の機種や構造により、設定温度を「高温」にしても水が混合され、湯温がぬるくなる場合があります。

□給湯温度が変更できないときは

■お湯を使用する(→P.8)の2の操作で給湯温度の変更ができない場合は、リモコンの優先ランプが点灯しているか確認してください。点灯していない場合は**■リモコンを優先にする**(→P.9)または**■浴室リモコンを優先にする**(→P.9)をご覧ください。

優先とは

給湯温度の調節ができることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、優先ランプが点灯しています。
1つの機器から供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。
このような事故などを防ぐために、優先ランプが点灯しているリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。優先ランプは、**運転**スイッチを「入」にしたリモコンに点灯します。

■リモコンを優先にする

浴室・台所、どちらのリモコンでもこの方法で優先にすることができます。
優先は**運転**スイッチを「入」にしたリモコンに点灯します。

操作	操作後の画面	説明
A 【優先ランプが点灯していない場合】 **運転**スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする		リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプが点灯します。

■浴室リモコンを優先にする

浴室リモコンでは、給湯温度スイッチを押して、優先にすることもできます。

操作	操作後の画面	説明
B 【浴室リモコンで行う】 **給湯温度**スイッチを押す		浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプが点灯します。

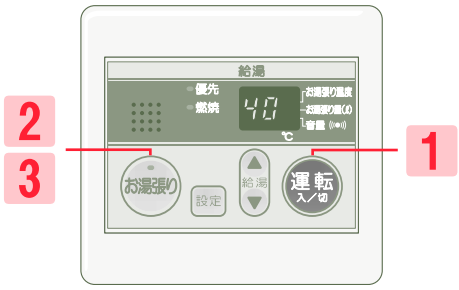
メモ
- 給湯優先切り替え時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃に設定されます。
- 優先切り替え後の給湯温度が50℃以上の場合には**“熱い温度にセットされました　注意してください”**とお知らせします。

浴槽にお湯張りをするには

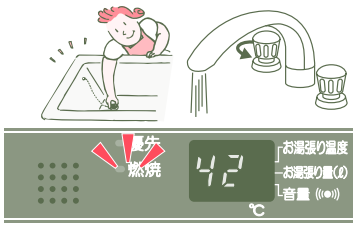
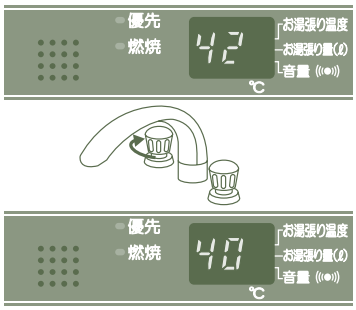
■お湯張り機能について

設定した湯量になると、台所・浴室リモコンの両方でチャイムと音声ガイドでお湯が張られたことをお知らせします。
お湯は自動的に出湯を停止します。

リモコンのイラストは TP-RK512Aです。
TP-RB512A・TP-RK512Aで操作ができます。



■お湯張り機能を使用してお湯張りする

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 を「入」にする		給湯温度を表示します。
2 お湯張り を押す おふろの栓をしてから給湯栓(蛇口)を開ける		お湯張りランプが点灯し、お湯張り温度を表示します。 **“お湯はりを始めます　おふろの栓をしてから蛇口を開けてください”** 燃焼ランプが点灯します。
3 設定したお湯張り量に達すると自動的にお湯が止まります 給湯栓(蛇口)を閉じてから、お湯張り を押す		**“おふろに入れます　蛇口を閉めてからお湯張りスイッチを押してください”** お湯張りランプが点滅し、燃焼ランプが消灯します。 給湯温度を表示し、お湯張りランプが消灯します。

お湯張りを途中でやめるには

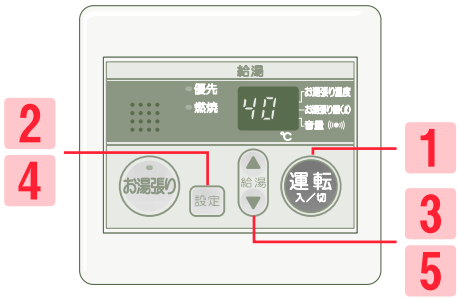
給湯栓(蛇口)を閉じてから、お湯張り を押す	お湯張りランプが消灯します。

⚠注意
- 入浴の際には念のためよくかきまぜ、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

お願い
- お湯張り機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- お湯張り機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(例えば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドがお知らせします)
- お湯張り中には優先の切り替え、温度の変更ができません。警告音が鳴り、**“お湯張りをしています”**とお知らせして受け付けません。
- お湯張り中に停電があると水が流れたままになります。給湯栓を閉じて浴槽を空の状態にしてからお湯張りをやり直してください。
- お湯張りが終わった後は早めに給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。お湯張り動作を終了させるまで他の給湯栓を開けてもお湯はでません。
- お湯張りが終わった後に給湯栓を閉じないままお湯張りスイッチを押すと、
  - ・給湯栓が閉じられたかどうかを機器が確認するため、給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。
  - ・リモコンに「CL」を点滅表示し、チャイムと音声ガイドで**“蛇口が開いています　蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください”**とお知らせします。
  - ・給湯栓を閉じてからお湯張りスイッチを押して解除するまで給湯栓から水が出なくなります。

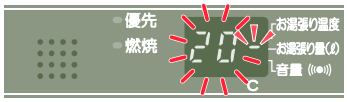
浴槽にお湯張りをするには

リモコンのイラストは
TP-RK512Aです。
TP-RK512A・
TP-RB512Aで操作が
できます。



■お湯張り温度・お湯張り量の設定

お湯張り温度・お湯張り量はお好みで設定することができます。

	操作	操作後の画面	説明
1	運転 入/切 を「入」にする		給湯温度を表示します。
2	設定 を押す		お湯張り温度ランプが点灯し、お湯張り温度を点滅で表示します。
3	▲・▼でお湯張り温度を調節する		▲はお湯張り温度が上がります。 ▼はお湯張り温度が下がります。 ▲・▼はお湯張り温度が点滅している間に押します。 続けてお湯張り量を設定する場合は、お湯張り温度が点滅している間に、4の操作をします。
4	設定 を押す		お湯張り量ランプが点灯し、お湯張り量を点滅で表示します。
5	▲・▼でお湯張り量を調節する		▲はお湯張り量が増えます。 ▼はお湯張り量が減ります。 ▲・▼はお湯張り量が点滅している間に押します。 しばらく▲・▼の押し操作がないと設定を完了し、給湯温度を表示します。

お湯張り温度の目安(単位:℃)　　40:工場出荷時

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準			あつい					

お湯張り量の目安　　18:工場出荷時

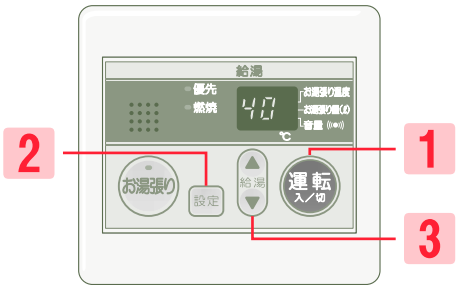
表示	5	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	40	50
湯量(ℓ)	50	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	320	340	360	400	500

お願い
- 浴槽の種類によっては、お湯張り量を多めに設定するとあふれる場合があります。初めは、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してからお好みの湯量に調節することをおすすめします。

メモ
- サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご使用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。
- 設定スイッチを順に押して「お湯張り温度」「お湯張り量」「音量」と続けて設定することもできます。

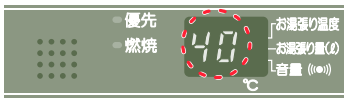
チャイムや音声ガイドの音量を調節する

リモコンのイラストは
TP-RK512Aです。
TP-RK512A・
TP-RB512Aで操作が
できます。



■音量を変更する

リモコン別に音量を変更します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 を「入」にします		給湯温度を表示します。
2 音量変更ランプが点灯するまで 設定 を押す		音量ランプが点灯し、音量を点滅で表示します。
3 ▲・▼で調節する 音量の目安　3(大):工場出荷時 0(無音) / 1(小) / 2(中) / 3(大)		▲は音量が大きくなります。 ▼は音量が小さくなります。 ▲・▼は音量が点滅している間に押します。 しばらく▲・▼の押し操作がないと設定を完了します。

メモ
- 設定した音量は、**運転**スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには、台所リモコンの呼び出し音声が「大」で流れます。
- 台所リモコンの呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ピッ”という音の音量は調節できません。

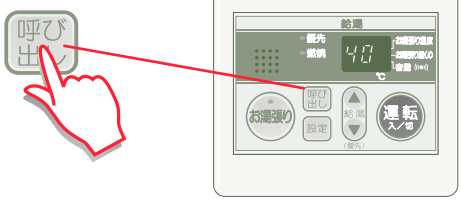
浴室から人を呼ぶ

■呼び出し機能を使用する

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、台所リモコンでチャイムを鳴らして知らせます。

呼び出しスイッチを押します

押している間チャイムが鳴ります。
台所リモコンでは、チャイムが鳴り“**おふろで呼んでいます**”とお知らせします。

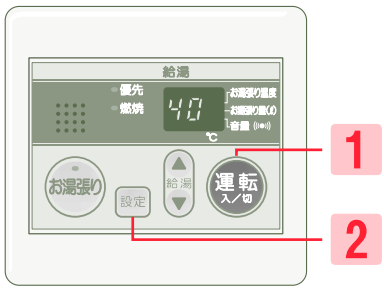


メモ
- **運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- インターホン機能は付いていません。
- 浴室リモコンと台所リモコンを両方取り付けていない場合、浴室からの呼び出しは使えません。

省電力機能について

リモコンは消費電力の低減のため、未使用時に画面(一部)を消す、省電力機能が付いています。
※工場出荷時は省電力機能が設定されています。

リモコンのイラストは TP-RK512Aです。 TP-RB512A・ TP-RK512Aで操作ができます。



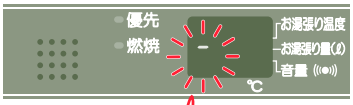
■省電力機能の解除

リモコン別に省電力機能を解除します。

操作	操作後の画面	説明
1 運転 入/切 を「入」にする		給湯温度を表示します。 ※省電力待機中で給湯温度を表示していない場合は、スイッチを押して給湯温度を表示します。
2 設定 を5秒長押しする		“ピッピッ”と鳴り省電力を解除します。 5分以上リモコン操作や給湯の使用がない場合でも、給湯温度表示は消えません。

■省電力機能の設定

リモコン別に省電力機能を設定します。

操作	操作後の画面	説明
1 運転 入/切 を「入」にする		給湯温度を表示します。
2 設定 を5秒長押しする	 省電力待機中は以下の点灯と消灯を繰り返します。 	“ピッ”と鳴り省電力を設定します。 5分以上リモコン操作や給湯の使用がない場合、給湯温度表示が消えます。

省電力待機中に画面を表示させるには

各スイッチを押すと表示します
画面を表示するだけで、スイッチの動作はしません。

リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します
・お湯を使用しているとき
・給湯温度を50℃以上に設定しているとき

ご注意ください
お湯張りスイッチは、押すと台所・浴室リモコンの画面が表示されると同時に、動作を開始します。
呼び出しスイッチは、押すと浴室リモコンの画面が表示されると同時に、動作を開始しますが、台所(増設)リモコンの画面はそのままです。

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき（外気温-15℃、有風5m/秒程度まで）

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。電源プラグを抜いたりブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- 凍結予防装置は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 給水・給湯配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じて処置をしてください。

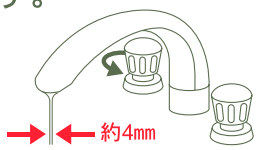
■給水・給湯配管を凍結させないために

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 【リモコンがある場合】
運転スイッチを「切」にする
【リモコンがない場合】
電源プラグを抜く

2 ガス栓を閉じる

3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます。
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



メモ

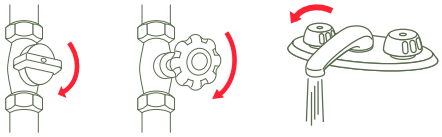
- 通水使用の禁止として、**運転**スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。（→P.4）
- 翌朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**スイッチを「入」にしてください。
- 凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

■機器の水を抜く方法

寒波などで特に寒くなりそうなとき（外気温-15℃より低い場合やそれ以上の気温でも風のある日）や入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で凍結予防をします。水抜き後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

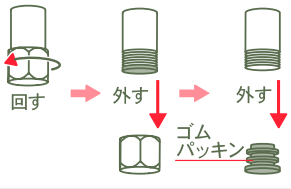
⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

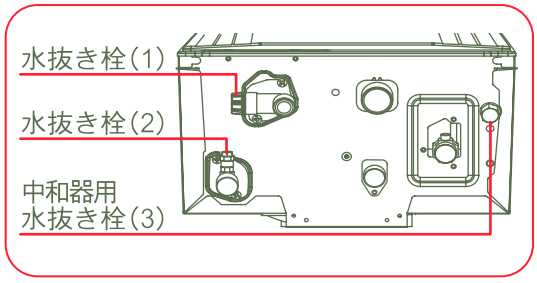
1 ガス栓・給水元栓を閉じる
すべての給湯栓を全開にする



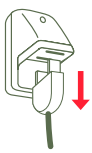
2 水抜き栓(1)(2)(3)を外して、水が出ることを確認する

【水抜き栓(3)の外しかた】
水抜き栓(3)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます。





3 必ず電源プラグを抜く
電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因となります。



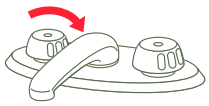
⚠注意 ●外した水抜き栓は再使用するときまで、なくさないように保管する。

冬期の凍結予防をするには

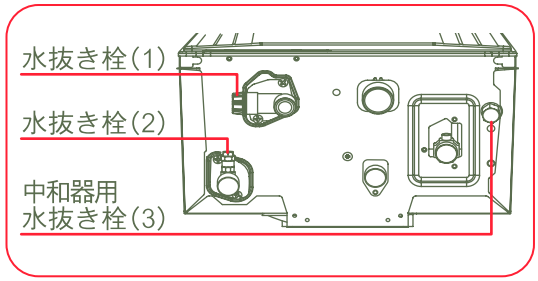
■再使用するときは

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

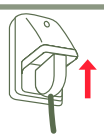
1 水抜き栓(1)(2)(3)およびすべての給湯栓を閉じる



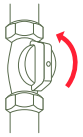
2 給水元栓を開けて、給湯栓の開閉を行い、すべての給湯栓から水が出ることを確認する
機器や配管から水漏れがないか確認してください。



3 電源プラグをコンセントに差し込む



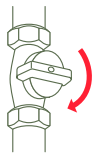
4 ガス栓を開ける



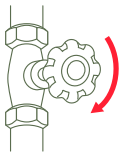
■凍結してしまったときは

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓を閉じる



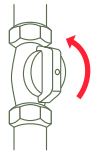
2 給水元栓を閉じる
配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります。



3 【リモコンがある場合】
運転スイッチを「切」にする
【リモコンがない場合】
電源プラグを抜く

4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する
水が出てくれば使用できます。通水したら、機器や配管から水漏れがないか確認してください。

5 ガス栓を開ける



6 【リモコンがある場合】
運転スイッチを「入」にする
【リモコンがない場合】
電源プラグを差し込む

⚠注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。(→P.16)

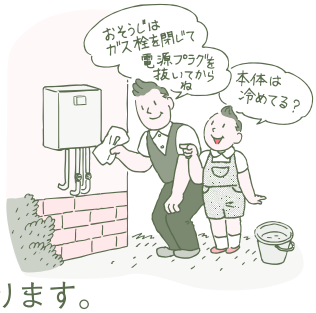
お願い ●床などに水が流れては不都合な場所で水抜きをするときは、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●水抜きをした後に再使用するときは、水抜き栓を元通り確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額の修理費用(有料)がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント(月1回程度)　次の6つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
   水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
3. 運転中に機器から異常音がしませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
   また、整然とされていますか？
   機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
6. 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれていませんか？
   給気口・排気口がふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
   積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

■お手入れのしかた(月1回程度)



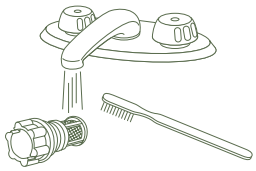
機器本体およびリモコンの掃除

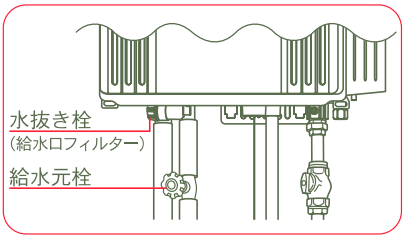
- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。

給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。
そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

1. 給水元栓を閉じます
2. 給水接続口にある水抜き栓(給水口フィルター)を外します
3. 歯ブラシなどで洗います
4. 元のように取り付けます

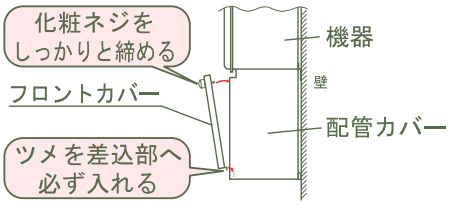




配管カバー(または据置台)のフロントカバーについて

配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。

①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。
②化粧ネジをしっかりと締める。



⚠警告
- フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

分解禁止

ご注意ください
- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ・電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどではふかないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■定期点検のおすすめ(有料)

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に表示が出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.7) 停電していませんか (→P.3)
燃焼ランプが点灯しない お湯が出ない	電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか (→P.7) 停電していませんか (→P.3) ガス栓が全開になっていますか (→P.7) 給水元栓が全開になっていますか (→P.7) 給湯栓が十分開いていますか (→P.8) 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.16) 断水していませんか 凍結していませんか お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか (→P.8) ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか LPガスの場合、ガスがなくなっていませんか
熱いお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→P.8) 温度調節は適切ですか (→P.8)
ぬるいお湯が出ない	温度調節は適切ですか (→P.8) 給水元栓が全開になっていますか (→P.7) 給湯栓が十分開いていますか (→P.8) 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.16)
家中のお湯が出なくなった	お湯張り機能を使用したお湯張り終了後に、お湯張りスイッチを解除しましたか (→P.10)
画面表示しない	電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか (→P.7) 停電していませんか (→P.3)
アラーム番号が表示された	アラーム番号を確認してください (→P.19)
運転中に機器から異常音がする	点検を依頼してください。

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな？と思ったら

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.0ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用するとお湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
給湯栓を閉じると、水抜き栓から一瞬水が漏れる	水抜き栓は過圧逃し弁をかねています。水の圧力を逃すために、水が出る場合があります。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

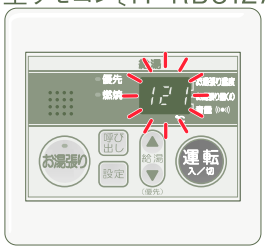
故障かな？と思ったら

■リモコンにアラーム番号が出たとき

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号が点滅表示し、自動的に運転が停止します。アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

台所リモコン〔TP-RB512A〕

浴室リモコン〔TP-RB512A〕



アラーム番号	原因	処置
031	ガス種選択異常	ガス栓が全開であることを確認後、リセット操作 ↓ それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼してください。
111	給湯点火不良	
121	給湯失火	
311	混合温サーミスタ断線・短絡	
321	入水温サーミスタ断線・短絡	
510	元ガス電磁弁故障	
511	給湯ガス電磁弁故障	
611	ファン回転異常	
701	制御基板異常	
711	給湯ガス電磁弁回路不良	
721	プリ・ポスト異常	
741	台所リモコン通信異常	
751	浴室・増設リモコン通信異常	
CL	お湯張り終了後、お湯張り機能の解除忘れ	給湯栓を閉じて、お湯張りスイッチを押す(→P.10)
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じる
101	自己診断装置作動	修理を依頼する
291	中和器詰まり	
391	自己診断装置故障	
901	点火前診断給排気閉塞	
921	中和器交換警告（使用可能）	
931	中和器交換警告（使用不可）	
991	燃焼異常	

リセット操作 **運転**スイッチを「切」にし、約5秒後「入」にしてお使いください。

ご注意ください

- “291” “921” “931”は中和器に関するアラームですのでこれらのエラーが出ましたら、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- アラーム番号“921”“931”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。
- アラーム番号“921”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中は、リモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。アラーム番号“931”では機器の使用はできません。

メモ

- アラーム番号“101”が表示されたときは、給湯自己診断機能により給湯能力が下がります。(例えば24号から約12号に)使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。(自己診断機能とは、機器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいい、自己診断機能がはたらいても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します)
- アラーム番号“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じることにより、アラームが解除される場合があります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」(→P.17～19)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

(1)お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)

(2)品名:TP-S516RFW
機器コード:11-033-22-08536

(3)現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。

(4)訪問ご希望日

万一のときでも安心です!

東京ガスグループは万全なメンテナンスサービスをご提供します

受付対応

◆月～土曜日の修理は9:00～19:00まで電話受付
月～土曜日は朝の9時から夜の7時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。

◆日曜・祝日の修理は9:00～17:00まで電話受付
日曜・祝日は朝の9時から夕方5時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。

出張対応

◆月～土曜日の17:00までの受付は、当日中にご訪問

◆月～土曜日の17:00以降の受付は、翌日にご訪問
翌々日以降の希望日にご訪問することも可能です。
なお、緊急時の場合は、ご相談ください。

◆日曜・祝日の15:00までの受付は、当日中にご訪問

◆日曜・祝日の15:00以降の受付は、翌日にご訪問

万一、ガス機器に故障が生じた場合等、修理に関すること何でも、別紙「お問い合わせ先一覧表」をご覧になり、ご用命ください。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

保証について

●取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

●必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。

●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。

●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。

(1) ガス栓を閉じます。
(2) 給水元栓を閉じます。
(3) 機器の水抜きを行います。(→P.14)
(4) 電源プラグを抜きます。

あんしん点検について

■機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」(有料)のおすすめ

お買い上げいただきました製品は長期間ご使用いただくと、経年劣化によって安全上支障が生じ、お客様に危害を及ぼすおそれがあります。
本製品には、標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障がなく使用できる期間として「設計上の標準使用期間」を設けています。「設計上の標準使用期間」を超えてのご使用は、経年劣化による事故発生の危険度が高くなりますので、継続して使用される場合は、安全確保のために「あんしん点検」(有料)を受けてください。

■あんしん点検について

あんしん点検は、東京ガスが本点検作業を委託している協力企業の作業員が行います。

【点検の内容について】

- あんしん点検は、お客様の任意で受けていただく有料の点検です。
- 点検基準は、経済産業省関係特定保守製品に関する省令に定められた法定点検の基準を参考に、当社で設定しています。
- あんしん点検の結果は、点検作業票にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)を行って使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。
- あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。

【点検の料金および点検の依頼先について】

点検料金は、お客様にご負担いただきます。また点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。
なお、あんしん点検料金の設定基準や点検要請に対応する事業所等については、下記のアドレスからご覧いただけます。(インターネットでご確認できない場合は、下記お問合せ先にご連絡ください)

http://home.tokyo-gas.co.jp/

あんしん点検のお申し込み・お問合せは、下記までご連絡ください。

東京ガスお客様センター　TEL：03-3344-9199　受付時間/月曜日～土曜日(祝日を除く) 9:00 ～ 19:00

■この製品の設計上の標準使用期間について

この製品の設計上の標準使用期間は、10年と算定しております。

設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください。(無償修理保証期間は保証書を参照願います)

仕様一覧

■仕様表

項目			内容
品名			TP-S516RFW
型式名			GS-H1601W
外形寸法(㎜)/質量(kg)			幅336×奥行200×高さ519 / 18
種類	給湯方式		先止め式
	設置方式		屋外壁掛設置形・PS標準設置形
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
水圧	使用水圧		100 ～ 750kPa(1.0 ～ 7.5kgf/c㎡)
	最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/c㎡)
接続	ガス		15A(R1/2)オネジ
	給水		15A(R1/2)オネジ
	給湯		15A(R1/2)オネジ
	ドレン接続口		15A(R1/2)オネジ
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)
	リモコン側		24V以下
	消費電力	待機時	0.8W(台所リモコン取付時)
		使用時	32W
		凍結予防時	112W
	電源コード		VCT(2心)機外長1.5m
安全装置			空だき防止装置(水量センサ)　凍結予防装置(ヒータ)　立消え安全装置(フレームロッド) ファン回転検知装置(回転数検知方式)　空だき安全装置(ハイリミットスイッチ)　過圧防止安全装置(スプリング式) 過電流防止装置(電流ヒューズ)　過熱防止装置(温度ヒューズ)　誘導雷保護装置(サージアブソーバ)
付属品			取扱説明書・工事説明書
別売品			台所リモコン・浴室リモコン・増設リモコン・リモコンコード

■能力表

品名	使用ガス 使用ガスグループ		ガス消費量 kW	出湯能力(最大時)(ℓ/min) 水温＋15℃上昇	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇	ガス接続
TP-S516RFW	都市ガス	13A	30.3	26.7	16.0	10.0	15A (R1/2)
		12A	28.2	24.8	14.9	9.3	

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2.0kgf/c㎡}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

保 証 書

ガス給湯器

品　名　TP-S516RFW

型式名　GS-H1601W

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体（リモコンを含む）を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   電装基板・リモコン（電装基板に起因する故障のみ）……3年
   熱交換器……3年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いしたときに、保証書をご提示ください。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1)住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2)取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3)機器を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
   (4)お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
   (5)建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
   (6)強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7)犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8)火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   (9)電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
   (10)指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   (11)給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
   (12)温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
   (13)本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお問い合せください。

保証履行者　：　東京ガス株式会社　〒105-8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　：　パーパスマーケティングジャパン株式会社　〒417-0834　静岡県富士市西柏原新田201

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	年　月　日		
販　売　店		扱者印	
住　　所			
電 話 番 号			

■修理記録

この機器の修理記録は、機器本体のフロントカバー裏に記録します。

■お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになるときに、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。